

# 稲城野草散策の会

野草スケッチ リュウノウギク（キク科）



1996/10/29

稲城市坂浜

絵と文 Ta

「え～、これがリュウノウギクです。リュウノウに似た香りがすることから名づけられたのだそうです」

「香りって、花ですか」

「そうだと思います」

「リュウノウってなんですか」

「ショウノウとかリュウノウってありますよね。その類です（ぜんぜん説明になっていないぞ）」

---

会報第11号 2005年11月20日発行 発行責任者 尼子 房夫

「どういうものですか」

「えっと、その～、防虫剤の一種ではないでしょうか（しどろもどろ）」

「タンスにゴンみたいなものですか」

「えっ、ハハハ、まあそんなもんでしょう。ははは（笑ってごまかす）」

なんともひどい説明であるが、説明しているのは私だ。

日本植物友の会で、私がリーダーとなって秋の観察会を行った時のことである。  
場所は稲城市坂浜だった。

年に3回ほど、観察会リーダーの役がまわってくる。

いいかげんな解説ばかりしていると、「あいつはモノを知らない」といった噂がさ  
さやかれることにもなりかねない。

後で調べた。

リュウノウ（竜腦）とは、東洋で古くから知られた香料、薬品である。

熱帯アジアに産するリュウノウジュ（フタバガキ科）の材に含まれる精油で、主  
成分をボルネオールという。

中国の医者は特に高貴薬として、発汗、去痰薬として、また眼病や歯痛にも用い  
た。防虫、防腐材としての効用もあり、古い遺骨（ミイラ?）からも検出されて  
いるという。

代用品として安価な樟脳が使われた。

リュウノウギクの茎や葉の部分をもんで匂いをかぐと、スーッとしたよい香りが  
する。

この香りがリュウノウに似ていることから、リュウノウギクの名前がつけられた  
のだそうである。

花の香りではなかった。

「訂正しま～す」って、いまごろ叫んでも遅いか(^\_^)

日本植物友の会の観察会リーダーをやるときには、下調べなどの準備をする。

1週間前にコースを下見をして、資料を作る。

資料はリーダーによってさまざまだが、コースの案内とか、見られそうな植物の  
ワンポイント解説などである。

私の場合は、植物の絵をワープロソフトで貼り付けた資料を作ることが多い。

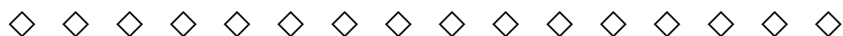
自分で描いた絵なので、著作権上の問題は起きない点が強みである。

また、参加者が興味を持ちそうな話題、植物名の語源とか花の生態などについても、ざっと調べておく。

リュウノウギクのときは、冬芽をテーマに資料を作った。  
花には重点を置いていなかったの、といえ言訳になるが、いままで何度もリュウノウギクを見て、説明しているが、あのような突っ込みはなかった。  
考えてみれば、リュウノウの何たるかを知らないままで「リュウノウに香りが似ているから」などと説明していたのだから、汗顔ものである。

観察会リーダーは、苦労はあるが、楽しみも多い。  
参加者が十分楽しめているか、満足しているかは、話してわかる。  
説明に対して、参加者からピンピン反応があれば、こちらもやりがいがあるというものだ。  
私が知らなかったことを、教えていただくこともあり、ありがたく、うれしい。  
話の輪が広がって、わいわいやりながらの観察は、ほんとうにいいものだなあと思う。

終わってから、仲間と杯を傾けることも多い。これも大きな楽しみである。



## 〔観察記録〕 10月23日 キャンプ村

「キャンプ村」が「稻城ふれあいの森」に名前を変えました。

少し暑かったけど、観察会には良い天候で、73名の参加がありました。ふれあいの森の南周路から北周路を観察して、昼食。

午後は大塚牧場から小田良地区を抜けて、2中裏の谷戸へ。お目当てのリンドウが一輪咲いていました。クルマアザミも車状になった総苞外片がはっきりと分かるものがありました。まだ蕾でした。

野菊も何種類か見られ、トリカブトの花、畑でサツマイモの花などそれなりの観察が出来たと思います。(FAM)

(以下は番号札をつけた記録です)

01 クマシデ、02 クヌギ、03 コナラ、04 ハリガネワラビ、05 ベニシダ、06 ミゾシダ、07 ノササゲ、08 トキリマメ、09 ヤブムラサキ、10 ノササゲ、11 クマヤナギ、12 シロヨメナ、13 ヤマノイモ、14 キバナ

アキギリ、15 ムラサキシキブ、16 ヤマイタチシダ、17 ゲジゲジシダ、  
18 カニクサ、19 ミドリヒメワラビ、20 シロダモ、21 ヒサカキ、22 ゴ  
ンズイ、23 シラカシ、24 エゴノキ、25 アブラチャン、26 アブラチャ  
ン、27 アカショウマ、28 コクサギ、29 リョウメンシダ、30 ウワミズ  
ザクラ、31 ヤマザクラ、32 イヌザクラ、33 イヌガヤ、34 シロヨメナ、  
35 サラシナショウマ、36 タマノカンアオイ、37 エノキ、38 ムクノキ、  
39 イヌザクラ、40 シオデ、41 カシワ、42 ベニスモモ、43 ナツグミ、  
44 ネムノキ、45 ロウバイ、46 スズメウリ、47 リョウブ、48 ツルグ  
ミ、49 アラカシ、50 シラカシ、51 シケシダ、52 アオツツラフジ、53  
ノブドウ、54 アメリカセンダングサ、55 コセンダングサ、56 エビツル、  
57 ツルウメモドキ、58 ガマズミ、59 ニガイチゴ、60 マサキ、61 ニ  
シキギ、62 ノコンギク、63 ヤマハッカ、64 サツマイモ、65 ウコン、  
66 ガマズミ、67 ゴンズイ、68 マユミ、69 ウワミズザクラ、70 ダイ  
ミョウセセリ)、71 アオハダ、72 シラヤマギク、73 キバナアキギリ

広澤さんのピンチヒッターで、案内役を務めさせて頂きましたが、色々と至らぬ点も多く、ご迷惑をお掛けしましたこと、深くお詫び致します。

さて、植物もさることながら、この日は天気にも恵まれたせいか、多くの蝶に会うことが出来ました。「私は10週類以上見ましたよ」と仰る方もいました。ぜひ、この掲示板でリストを挙げてみて下さい。(^^)

印象的だった蝶

#### (1) ダイミョウセセリ幼虫

「オニドコロ」の葉の一部を切って、それを折り込み、綴り合わせて作った巣の中で生活します。

<http://homepage3.nifty.com/ueyama/shubetsu/seseri/daimyo/daimyo.html>

#### (2) ツماغロヒョウモン

もともと、関東では見られなかった蝶で、かつては西日本～南西諸島にかけて見られる蝶でした。それが温暖化の影響で、どんどん北上し、特に今年は大ブレイク!の年になりました。

住宅地でも、緑地でもよ～く見かけます。幼虫の食草はスミレ類。(パンジーなどの園芸種でもOKです。)

<http://homepage3.nifty.com/ueyama/shubetsu/tateha/tsumagu/tsumagu.html>

### (3) ウラギンシジミ

蝶は、卵・幼虫・蛹・成虫とそれぞれ種類によって越冬する状態が違います。その中で「ウラギンシジミ」は成虫で越冬します。ツバキなど常緑樹の葉裏で越冬するのですが、寒さに耐えきれず？死んでしまう個体も多くいるようです。

<http://homepage3.nifty.com/ueyama/shubetsu/shijimi/uragin/uragin.html>

おっと・・・今回は、これくらいにしておきましょう。(めりべ)

#### 〔観察記録〕 11月3日 (フローラオフ) 秋のあきる野

秋のあきる野オフに参加された皆さん、お疲れ様でした。

21名の参加があり、今回は道を間違えることもなく無事回ることができました。

小峰公園での時間がとれず、ほとんど素通りだった点がちょっと心残りでしたが・・・

多摩丘陵とは一味違う植生で、いろいろなものが見られました。

昨年「？」付きだったアオナシが、間違いなかったことが確認できたのは私としても収穫でした。

武蔵五日市はよいフィールドがいろいろありそうなので、またオフを計画したいと思います。(T a)

#### 〔観察記録〕 11月11日～12日 葦毛湿原一泊観察会

マイクロバスで曇りの東京を出発、日曜日でしたが順調に走り、無事葦毛湿原に到着、現地で待ち合わせた3人と合流しました。

残念ながらこの頃より雨が落ちてきました。それでも傘を差したり、閉じたりという程度の雨で、3班分かれ、吉田さん、shukuさん、T aさんの案内で、木道を通って観察しました。シラタマホシクサがまだ残っていて安心しました。食虫植物のミミカキグサの仲間、モウセンゴケ、スイラン、サワシロギク、ウメバチソウなど、それにクロミノニシゴリ、黒い実を沢山つけたイヌツゲ、リンボク、イワタカンアオイなどなど、いろいろ観察出来て良かったと思います。

近くの田んぼで、サクラタデや田んぼ雑草を観察して、バスに乗り込むと雨足が強くなりました。どんどん降って明日は朝から快晴になってくれ！

翌朝目を覚ますと、一点の雲もない快晴、眼下に豊橋市の町並の遠景が広がります。朝食後、宿から歩いて20分という石巻山の頂上を目指しましたが、なんと1時間10分かかりました。頂上では、はるか遠くに富士山が見えました。

本日のメイン、中宇利に到着すると、入り口のところでムラサキセンブリの群

生が大歓迎してくれました。ヤマラッキョウ、ミカワマツムシソウ、リンドウ、サワシロギク、白い花のセンブリ、アリノトウグサなどが注意して歩かないと踏みつけてしまいそうな状態で、十分に堪能できました。

「山さ・ちくわ」でお土産を購入して、東名に乗ると、車内で3次会が始まり、大いに盛り上がったところで、予定通り新宿に到着、楽しかった観察会も無事終了しました。また、来年もいい企画を考えましょう。待っていて下さい。参加するなら早めに申し込まないと駄目ですよ。(FAM)

正直なところ11月に入ってからの観察会で花は少ないだろうと思っていたのですが案に反して沢山の可愛い花々に会う事が出来て大満足、おまけに石巻山では平べったい、毛が生えた様なカタツムリ(陸生巻貝)をみてびっくり。その上内山会長のおもいつきで次郎柿の発祥地での柿もぎも経験。

参加してよかった!!

帰りのバスの中での「異常」な盛り上がりも初めてのこと。

みなさん ありがとうございました。(ふくろう)

\* \* \* \* \*

## 〔行事予定〕 2005/12/18 (日) 焼き芋大会

項目	説明
集合	午前10時、京王相模原線京王よみうりランド駅 ※会旗目標 京王よみうりランド駅の改札口は一個所だけです
交通	京王線調布駅から相模原線橋本行快速または各停で3駅目 京王よみうりランド駅には急行は停まりませんのでご注意ください
行く先 (解散場所)	稲城市穴沢天神での恒例・焼き芋大会です。穴沢天神で解散。最寄 駅は京王よみうりランド駅です 焼き芋準備グループと観察グループの2班に分かれて行動する予定 です
見所・その他	たき火(^_^) 冬芽、常緑シダなども観察します 当会の忘年会を兼ねます。芋、酔い子の飲み物などは幹事が用意し ます。差し入れ大歓迎!!
コース	観察グループのコース： 駅前～よみうりランド遊歩道～小沢城址～穴沢天神(焼き芋大会) (解散：15時30頃)

※小雨決行 参加申込み不要、会費当日500円